

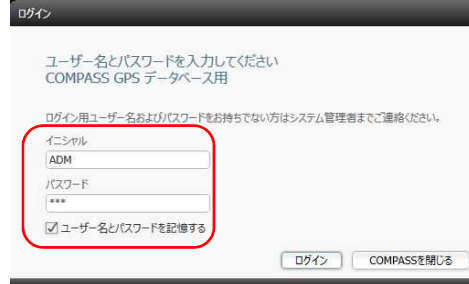
Noah4をお使いの場合は、Noah4を起動してオーディオグラムなど顧客情報を登録します。
顧客情報の登録が終わったら、モジュールリストから「COMPASS GPS」を起動し、**2**へお進みください。

1 COMPASS GPS を起動し、お客様の登録とオーディオグラムを入力します。

①COMPASS GPSアイコンをダブルクリックします。



②COMPASS GPS スタンドアローン データベースにログインします。



イニシャル：ADM
パスワード：GPS
(いずれも半角大文字)

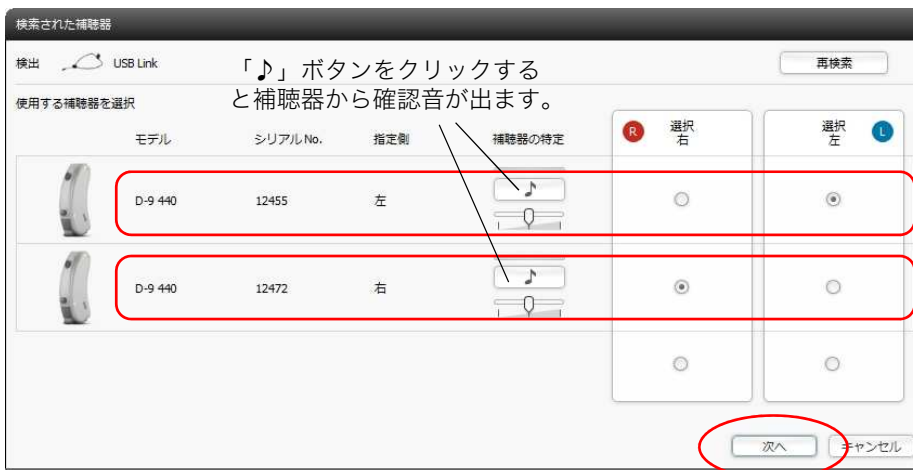
③COMPASS GPS スタンドアローンデータベースに顧客情報を登録します。
新規フィッティングの場合は、「新しいセッション」ボタンを、微調整の場合は保存されているセッションを選択し、「セッションを開く」ボタンをクリックします。



2 「接続」ボタンをクリックします。

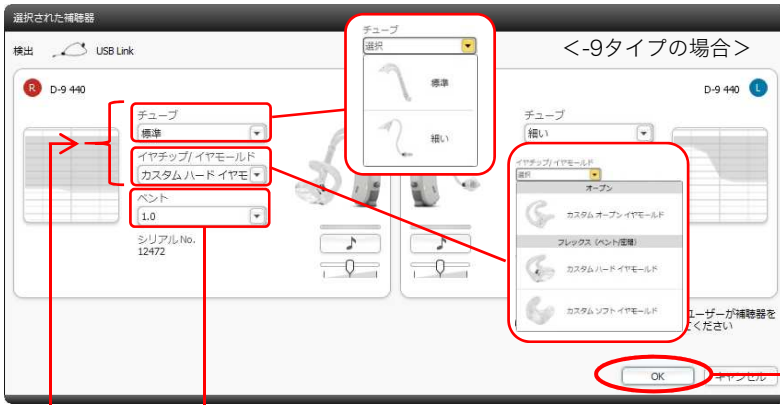


3 補聴器の左右を指定し、「次へ」ボタンをクリックします。



！補聴器を読み込めない場合は…
次の内容を確認してください。
・補聴器はプログラミングインターフェースの通信範囲内にありますか？
・補聴器の電源はオンになっていますか？
・補聴器に消耗した電池が入っていませんか？

4 耳かけ型の場合は、お客様がお使いになる音響構成（レシーバー・イヤチップ・ベント径）を選択します。



フィードバックテストを行わない場合は、ベント径を選択してください。

5 「OK」 ボタンをクリックします。

6 DREAMシリーズはオーディオグラムを基にした初期設定を行います。下記画面が表示されるまでお待ちください。

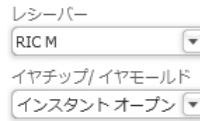


<音響構成>

フック・チューブ、レシーバー、耳せんなどは現在調整している補聴器と同じ構成にしてください。正しい構成（音響構成）が選択されていないとお客様のお耳に必要な音が届かない場合があります。

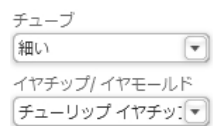
<-PA,-FSタイプの音響構成>

使用するレシーバーと耳せんの種類を指定します。



<-FA,-9,-m-CBモデルの音響構成>

使用するチューブの太さと耳せんの種類を指定します。



7 センソグラムは入力されたオーディオグラムを、フィードバックテストはベント径を基にした推定値が設定されます。試聴の際など簡単にフィッティングしたい際は、「ファインチューニング」をクリックし、推定値のまま進みます。

購入決定時やハウリングの問題がある場合は、より個人差に合わせるために「フィードバックテスト」「センソグラム」を行うこともできます。



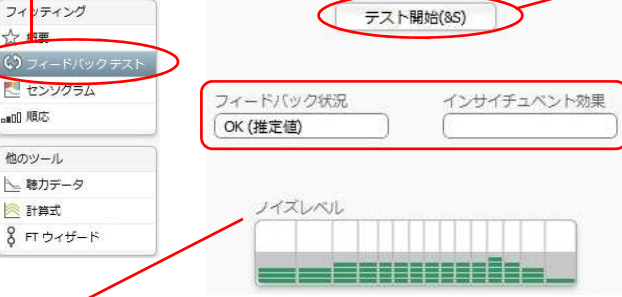
8 微調整に進むには、「ファインチューニング」をクリックします。



「フィードバックテスト」の測定

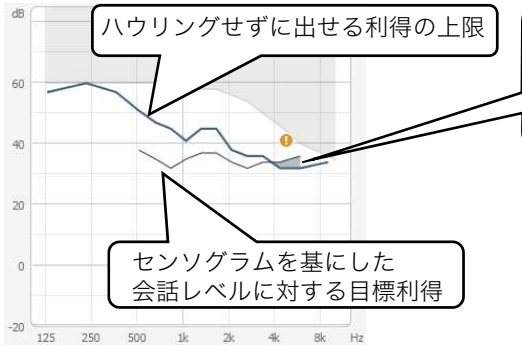
1 「フィードバックテスト」をクリックします。

3 「テスト開始」をクリックし、フィードバックテストを行います。



2 ノイズレベルのグラフがすべてグリーンになっているか確認します。

！フィードバックテストで「！」と表示された場合は・・・



青い折れ線が黒い折れ線を少しでも下回ると「！」と表示されます。青い折れ線が黒い折れ線を下回った場合、ハウリングしないように利得に制限をかけている状態で会話の聞き取りが十分できているか確認します。（目安として青い折れ線と黒い折れ線の差が10dBの範囲内であれば実用上問題ありません。）

シェル・イヤモールドのゆるみなどにより音漏れでハウリングしやすくなっているか、テスト中に周囲のノイズが入ってしまったことが考えられます。補聴器を装着し直してから、静かな場所で再度フィードバックテストを実行し、グラフを確認してください。ただし、お客様の聴力がその器種のフィッティングレンジの上限に近い場合は、「！」が出にくくなることがあります。



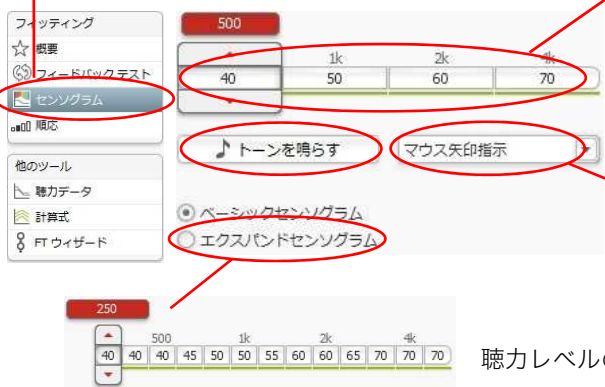
実際のベント径ではなく、フィードバックテストの結果から推測される音漏れの効果が表示されます。

「センソグラム」の測定

1 「センソグラム」をクリックします。

2 測定する周波数の欄をクリックした後、上下の矢印キーで音のレベルを合わせます。（各周波数の気導閾値+10からスタート）

3 カーソルを「♪ トーンを鳴らす」に合わせ、最小可聴閾値を測定します。（1000⇒2000⇒4000⇒500の順番で測定）



「マウス矢印指示」：「♪」にカーソルを合わせると測定音が呈示されます。「手動」：「♪」をクリックすると測定音が呈示されます。「自動」：数値を変更すると自動的に測定音が呈示されます。

聴力レベルの変化が急な場合などは、エキスパンドセンソグラムを測定します。

「順応」の設定

1 「順応」をクリックします。

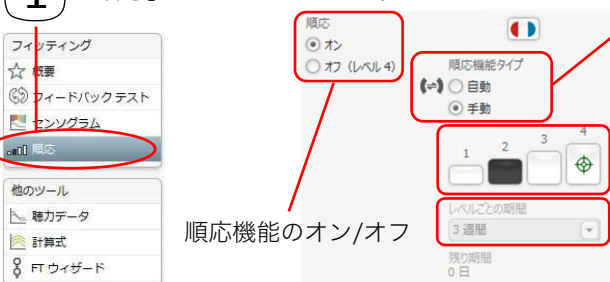
「自動」：「レベルごとの期間」が経過すると自動的に順応のステップが上がります。

「手動」：順応のステップを手動で設定します。

順応機能のステップを設定します。（ステップ4が最終目標値）

「順応機能タイプ」を「自動」にした際、どの期間でステップを上げるか設定します。（1週間・2週間・3週間・1ヶ月・2ヶ月・3ヶ月から選択）

※「順応」機能は、「ファインチューニング」でも設定できます。



9 「ファインチューニング」画面で音の大きさや音質、機能設定を行います。

設定したいリスニングプログラムをクリックして切り替えます。

グラフ表示の選択

IGラウド

- ・かなり大きな音
- ・衝撃音の聞こえ
- ・自分の声（低域）

IGノーマル

- ・会話レベルの音
- ・衝撃音の聞こえ
- ・自分の声（低域）

IGソフト

- ・小さな音の聞こえ方
- ・静かな場所での物音
- ・遠くの音の聞こえ方

大きな音（ラウド）

大きな音の低域～高域の調整

小さな音（ソフト）

小さな音の低域～高域の調整

	500	1k	2k	4k
103	103	101	96	
4	10	9	8	
11	18	17	18	
21	28	30	34	

99 104 104 104 105 105 107 108 109 107 109 112 110 103 78
 -3 1 4 5 4 5 10 10 10 8 8 8 10 8 2
 3 7 10 11 10 11 16 16 16 14 14 13 15 16 21
 10 12 14 15 15 15 20 21 22 21 21 21 23 24 22

DREAM440やDREAM330は、基本周波数4バンドの他に15バンド（DREAM440）10バンド（DREAM330）を選択できます。

マイクモード（指向性）

- HDロケータ+デジタルピナ ※D440/D330
- HDロケータ
- HDロケータ無指向性+デジタルピナ ※D440/D330
- HDロケータ無指向性
- HDロケータ指向性

※D440・D330・D220はチャンネル毎、D110は全帯域ロケータ

スピーチ・ノイズモード（騒音制御）

- 騒音制御 標準（SIS） ※D440/D330/D220
- 騒音制御 弱（SIS） ※D440/D330/D220
- 騒音制御 強調（SIS） ※D440/D330/D220
- 騒音制御 最適 ※D440/D330/D220
- スピーチエンハンサー ※D440/D330
- オフ

インパルスサウンドモード（衝撃音抑制）

※D440/D330

- トゥルーサウンドソフトナー オン
- トゥルーサウンドソフトナー プラスオン
- トゥルーサウンドソフトナー オフ

フィードバックキャンセルモード

- スーパーゲイン
- スーパーゲイン 最大
- スーパーゲイン ミュージック
- オフ

機能設定

マイクモード
HD ロケータ+デジタルピナ

スピーチ・ノイズ モード
⇒ スピーチエンハンサー

インパルスサウンドモード
トゥルーサウンドソフトナー オン

フィードバックキャンセル モード
⇒ スーパーゲイン

他のツール「プログラマネージャー」

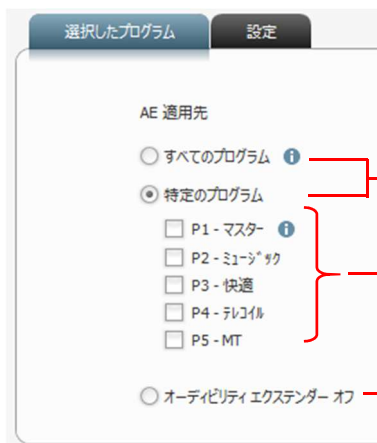
- 1 リスニングプログラムを追加する場合は、「プログラマネージャー」をクリックします。
左右の補聴器でリスニングプログラムを変えたい場合は、「複合プログラム」から選択します。



- 2 プログラムの追加・削除が終わったら、「プログラム設定」をクリックします。

他のツール「AE設定」 (パーソナルAE)

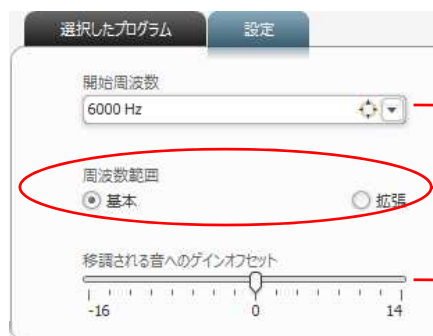
高音急墜型のような高域で大きな聴力レベルを示す場合、補聴器の増幅で高域音を聞こえるようにすることは困難なことが多いため、ワイドックスでは高域にある音を1オクターブ下にリニア移調するオーディビリティエクステンダー (AE) 機能を用意しました。
DREAMでは、各種リスニングプログラムにAE機能の設定ができます (パーソナルAE)。
「選択したプログラム」タブで、AEの適用先を選択し、「設定タブ」で詳細を設定します。



AE設定の適用先を選択します。

AEを適用するプログラムを選択します。

AE設定をオフにします。



開始周波数を選択します。

基本3バンド、拡張5バンドを選択。

移調される音の大きさを調整する際に使用します。

10 「使用操作」をクリックし、DEX機器のマッチングやお知らせ音などの設定を行います。

WIDEX COMPASS GPS

セッションスタート 選択 フィッティング ファインチューニング 記録 **使用操作**

使用操作

- DEX
- CROS/BICROS
- 補聴器 構成

WIDEX CROSを使う場合は、ここから設定を行います。

DEX機器のマッチングを行います。

お知らせ音などの設定を行います。

RC-DEX	シリアル番号	---	マッチングなし	マッチングの開始
TV-DEX	シリアル番号	---	マッチングなし	マッチングの開始
M-DEX	シリアル番号	---	マッチングなし	マッチングの開始
COM-DEX	シリアル番号	---	登録なし	登録開始
COM-DEX Remote Mic	シリアル番号	---	登録なし	登録開始
CALL-DEX	シリアル番号	---	登録なし	登録開始
UNI-DEX	シリアル番号	---	登録なし	登録開始
FH+DEX	シリアル番号	---	登録なし	登録開始

お知らせ音

ユーザーコントロール 両耳開 構成 調整担当者用設定

- ボリューム変更時
- プログラムボタン使用確認
- プログラム切替
- DEX/CROS 通信開始
- 動作開始時
- バッテリーアラーム
- 通信相手 未検出時の警告

スマートスピーク言語
日本語, 女声 v2

スマートトーンレベル調整
0

スマートスピークレベル調整
0

プログラムボタン使用確認-レベル調整
0

スマートトーン-周波数
500-850 Hz

スマートトーンスピード-プログラム切替
標準

- スマートスピーク (音声によるお知らせ)
- スマートトーン (ピープ音によるお知らせ)
- 右または左の補聴器からお知らせ音を再生します。

RC-DEX/TV-DEX/M-DEXをお使いになる場合は「マッチング開始」ボタンをクリックし、DEX機器とマッチングします。

11 フィッティングと各種設定が完了したら、「セッションの終了」をクリックします。

WIDEX COMPASS GPS

セッションスタート 選択 フィッティング ファインチューニング 記録 使用操作

セッションの終了

使用操作

- DEX
- CROS/BICROS
- 補聴器 構成

RC-DEX シリアル番号 --- マッチングなし マッチングの開始

TV-DEX シリアル番号 --- マッチングなし マッチングの開始

12 「Compassを閉じる」をクリックします。

Compass GPSと補聴器の間でデータの通信が終わると、補聴器からポーンという音（スマートトーン設定時）または「右(左)準備完了」（スマートスピーク設定時）と音が出ます。

セッションの終了

このセッションを閉じようとしています。続行しますか？

- 顧客データベースにフィッティングデータを保存しますか？
- コメント
- データはすでに補聴器に保存されています

セッションの終了 **COMPASSを閉じる** キャンセル